

RSモルタル-NF

厚生労働省令第15号「水道施設の技術的基準を定める省令」適合材料(試験方法:JWWA Z 108:2012)

RSモルタル-NFは、水を加えて練り混ぜるだけで使用できるプレミックスモルタルです。ポリマーや短繊維を含まない「水にやさしい」材料であり、水道施設の更新工事における配水池等の密閉された暗渠構造の内面補修に適しています。左官工法、吹付工法のいずれでも施工が可能ですので、施工条件にあわせて適切な施工方法を選択できます。

▶ 特 長

- 左官工法・吹付工法のいずれでも施工可能です。
- ポンプ圧送性に優れます。
- 早期の強度発現に優れます。
- コンクリートとの接着性が良好です。

▶ 用 途

- 水道施設の更新工事における配水池等の共用中は水で満たされる密閉された暗渠構造の内面補修

▶ 製品概要・標準配合

- RSモルタル-NF: 25kg/袋

■ 標準配合

RSモルタル-NF	25kg(1袋)
練混ぜ水	3.5~4.5kg(標準3.8~4.0kg)

■ 1m³当りの標準使用量(練混ぜ水量4.0kg/袋の配合)

RSモルタル-NF	約1,850kg(74袋)
練混ぜ水	296kg

1) 練混ぜ水は、施工時の気温や施工方法により変動します。したがって、標準配合の範囲内で調整して下さい。

2) 練混ぜ水は、水道水またはそれに準じる清水を用いて下さい。

2) 練混ぜ水量4.0kg/袋により算出した数値です。

▶ 1袋当りの練り上がり量 約13.5ℓ

▶ 性能例(20℃)

■ 性能例①

試験項目	材齢	試験結果	準拠試験方法
圧縮強さ(N/mm ²)	3日	24.2	JIS R 5201 [供試体寸法 40×40×160mm]
	7日	41.1	
	28日	58.9	
曲げ強さ(N/mm ²)	3日	3.8	JIS R 5201 [供試体寸法 40×40×160mm]
	7日	6.6	
	28日	8.2	
付着強さ(N/mm ²)	7日	1.5	建研式接着力試験器による [基板にはJIS A 5304に規定するコンクリート平板(N300)を使用]
	28日	2.1	
浸出試験		適合	JWWA Z 108:2012により浸出液を調整し、同規格に定める方法により分析した。
中性化速度係数(mm/√週)		1.4	JIS A 1153「コンクリートの促進中性化試験方法」
塩化物イオン浸透深さ(mm)		4	JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」

● 上記データは標準配合時の試験結果です。また、厳密に管理された試験室内にて実施されたデータであって、現場においては異なる数値を示す場合があります。

■ 性能例②

試験項目	材齢	試験結果	準拠試験方法
圧縮強さ(N/mm ²)	7日	44.2	JIS A 1108 [供試体寸法 φ50×100mm]
	28日	61.3	
付着強さ(N/mm ²)	7日	1.7	建研式接着力試験器による [基板にはコンクリート平板を使用]
	28日	2.5	

● 上記データは、吹付工法により成形したモルタルで試験した代表値です。

施工概要

- ① 劣化あるいは脆弱化した部位を、ウォータージェット工法またはそれに準じる方法にて完全に除去し、健全なコンクリート面を露出させて下さい。
- ② コンクリート面は十分に清掃して、埃や汚れを取り除いて下さい。
- ③ 鉄筋が露出している場合には、適切な防錆処理を施して下さい。
- ④ 施工する部位は湿潤状態として下さい。環境条件により湿潤状態が保持できないと判断される場合は、プライマーの塗布を行なって下さい。
- ⑤ モルタルを練り混ぜる際には過度の練り混ぜによる気泡の巻き込みに注意して下さい。
- ⑥ 練混ぜ量は、施工体制や環境条件等によって調整し、一度に大量のモルタルを練り混ぜないで下さい。
- ⑦ 練り上がったモルタルを左官工法・吹付工法で施工して下さい。
- ⑧ 1層目は下地コンクリートが隠れる程度とし、密着するように施工して下さい。2層目以降の塗り付けは、前層の塗り付け終了後、適度な養生期間をおいて十分に締まったことを確認してから行って下さい。
- ⑨ 最終仕上げを必ず行って下さい。最終仕上げは、モルタルが締まった後に金ゴテ仕上げとして下さい。仕上げの際に水を噴霧して仕上げないようにして下さい。
- ⑩ 仕上げ後は、翌日から3日間以上の散水を必ず行って下さい。
- ⑪ 散水養生期間の完了後から共用開始までの期間は、必ず高湿度環境を保ち、乾燥しないようにして下さい。
- ⑫ 詳細は、施工要領書をご参照下さい。



ご使用になる前に、必ずご確認ください。

●本カタログに記載される性能例他の事項は代表的な実験値や調査に基づくものであって、「すべての現場諸条件」に当てはまるものではありません。●ご使用になる前に、使用の目的や要求性能、および使用される場合の現場諸条件を考慮して、本製品が適正であるかどうかのご検討をお願いいたします。●特に、現場において実施されることの多い「圧縮強度」、「付着強度」については、試験体作成時の配合や環境温度、成形方法、試験体寸法や形状、その後の養生条件等により下回る数値を示すことがあります。●試験手順については、工事仕様書、発注者仕様書、または関連する指針(案)等をご確認頂き、必要に応じて監督係員と協議して事前に確定しておくようお願いいたします。

使用上の留意事項

- 本製品は、水道施設の更新工事における配水池等の密閉された暗渠構造の内面補修に適用して下さい。
- 練混ぜには、水道水またはそれに準ずる清水を用いて下さい。
- 欠損が大きいかなどはく落の恐れがある場合は、鉄筋の設置、アンカー、メッシュの取り付け等のはく落防止対策を行って下さい。
- 外気温が5℃以下の場合は、作業を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、シート等の覆いの他、ヒーター等の保温措置を講じて下さい。
- 日射および風等の影響を受ける箇所での施工は避けて下さい。やむを得ず施工する場合は、弊社支店、営業所にご相談下さい。
- 練混ぜには、アルミニウム製の羽根は絶対に使用しないで下さい。アルミニウム部材が摩耗し、施工後に異常膨張する恐れがあります。
- RSモルタル-NFの保管は、雨露等がかからず湿気の少ない場所を選び、パレット等を敷いて床面から離れた状態で、ビニールシート等で覆って下さい。
- 廃棄する場合は、硬化後に産業廃棄物として処理業者に廃棄をご依頼下さい。
- 排水等は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に従って廃棄して下さい。



安全上の注意事項

- 本製品はカタログに記載されている方法でご使用下さい。
- 本製品はセメントと同様にアルカリ性を示します。使用の際は、眼、鼻、皮膚及び衣類に触れぬよう保護具(ゴム手袋、保護メガネ、マスク等)を着用の上ご使用下さい。
- 誤って目に入った場合は、直ちに清水にて十分に洗浄した後に医師の治療を受けて下さい。
- 誤って飲用した場合は、直ちに吐き出して、清水で十分に洗浄した後に速やかに医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着すると肌荒れを引き起こすことがありますので、付着した場合は直ちに水洗いして下さい。
- 作業後は手洗い、うがいをして下さい。
- 本製品の取扱いに関して、詳細な内容を必ず安全データシート(SDS)にてご確認ください。

このカタログの記載の諸性能および諸物性は、環境条件や使用条件などによりカタログと異なる結果を生じることがあります。十分なご検討の上、ご使用頂きますようお願い申し上げます。このカタログの記載内容は、予告無しに仕様や取扱いを変更することがありますので、ご了承下さい。

 **太平洋マテリアル株式会社** <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

営業本部 機能性材料営業部

〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階 TEL.03-5832-5217

北海道支店	〒060-0004	北海道札幌市中央区北4条西5-1-3	日本生命北門館ビル	☎ 011-221-5855
東北支店	〒980-0804	宮城県仙台市青葉区大町1-1-1	大同生命仙台青葉ビル	☎ 022-221-4511
東京支社	〒114-0014	東京都北区田端6-1-1	田端ASUKAタワー16階	☎ 03-5832-5241
中部支店	〒453-0801	愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18	名古屋KSビル	☎ 052-452-7141
関西支店	〒532-0011	大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2	類ビル4階	☎ 06-7668-6001
中国支店	〒732-0828	広島県広島市南区京橋町1-23	三井生命広島駅前ビル	☎ 082-261-7191
四国支店	〒760-0050	香川県高松市亀井町7-15	セントラルビル	☎ 087-833-5758
九州支店	〒810-0001	福岡県福岡市中央区天神4-2-31	第2サンビル	☎ 092-781-5331